

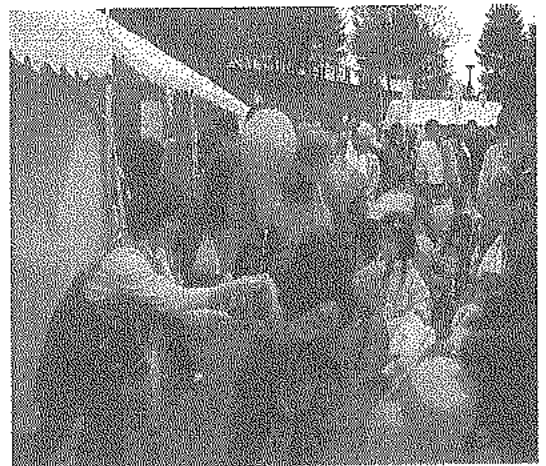
せいか祭り



『せいか祭り2004』が11月14日の日曜日、「けいはんな記念公園」一帯で開かれました。シルバー人材センターも積極的に参画して、祭りの盛り上げに一翼を担いました。当日は曇りがちの空模様でしたが、主催者発表では3万5千人の参加者があり、広い精華大通りの

歩道はひととき人波に埋まりました。

センターは芝生広場に設営された「くらしの広場」の一角にテント張りの特設コーナーを設け、相談窓口とPR作戦の拠点にしました。来場者への宣伝活動には8人の会員が参加、1,500部のパンフレットを一人ひとりに手渡しして、シルバールの利用と加入を訴えました。今年初めて取り組んだ風船によるPR活動に子どもの人気が集中。ガス注入作業が追いつ



かない有様で、準備していたシルバー名入りの500個の風船はあっという間に配り終えました。又、相談窓口には、庭木剪定の申込みや入会手続きの説明を聞きたいという来訪者が数組ありました。テントの壁面には会員の活動振りを写したパネルを展示し、来訪者の注目を集めていました。

こども祭り

16日にむくのきセンターで開かれた「第2回精華町子ども祭り」には、会員の山田重雄、岩前良明両氏が出向いて、習字の名人芸を披露し、子どもたちに字を書く楽しさを教えました。両氏は自身で教室を開いている文字通りのプロの先生。教え方も堂に入ったもの。子どもたちは時間の経つのを忘れて、習字の練習に取り組んでいました。

